

全県連盟宛第 H27-039 号 (J)
平成 27 年 8 月 19 日

ボーイスカウト都道府県連盟
理 事 長 各位
県連盟コミッショナー 各位
事 務 局 長 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木 村 公 一



第 23 回世界スカウトジャンボリー外国参加者 帰国後の髄膜炎菌感染症発生について（ご連絡）

標記の件につきまして、平成 27 年 7 月 28 日から 8 月 8 日まで山口県山口市阿知須きさら浜で開催された第 23 回世界スカウトジャンボリー参加の UK 派遣団第 66 隊（スコットランド）参加者が帰国後に髄膜炎菌感染症と診断され入院中である旨、スコットランド当局から厚生労働省に情報提供があり、8 月 14 日付けで別紙のとおりボーイスカウト日本連盟へ連絡がありました。

これを受けて、厚生労働省と協議のうえ、髄膜炎菌感染症は感染者と濃厚な接触をしなければ伝播しないことと、潜伏期間が平均 4 日（2 日～10 日）であることを踏まえ、同日に ISHIZUCHI サブキャンプ内の隣接サイトでキャンプをしていた参加隊へ兵庫連盟と京都連盟を通じて、また開催県である山口県連盟にこのことをお知らせしました。

8 月 18 日になり、スウェーデンの参加隊からも発病の疑いがある旨の連絡があり、厚生労働省および文部科学省との協議を踏まえて、世界スカウト機構と協力して参加各国連盟および派遣団長への連絡、そして大会ホームページと世界スカウト機構ホームページへの掲載が行われました。

つきましては、別紙厚生労働省からの文書および同省からの下記追加情報をご参照いただき、8 月 18 日現在、日本国内の感染は報告されていませんが、貴連盟所属の大会参加者が万一体調の変化を感じた際には医療機関を受診するようお願い申し上げます。

記

厚生労働省からの連絡文書（ホームページ掲載と同文）： 別紙 2 枚参照

厚生労働省からの追加情報：

※侵襲性髄膜炎菌感染症（感染症法上の 5 類感染症）

- ・初期症状は、頭痛、発熱、吐き気、発疹など
- ・潜伏期間は平均 4 日（2～10 日）
- ・感染経路は、飛沫感染及び接触感染。感染期間は発症 1 週間前から治療開始 24 時間後まで。
- ・濃厚接触者について、接触からできるだけ早く（遅くとも 14 日以内に）抗菌薬を内服（予防内服）することで、発症抑制効果が期待される。
- ・濃厚接触者とは、感染期間において患者と 1m 以内で 8 時間以上同席した者、患者の唾液と直接の曝露があった者等。
- ・感染症発生動向調査によると、患者数は 2013 年 23 人、2014 年 37 人。
- ・国内における侵襲性髄膜炎菌感染症患者の発生動向調査によれば、8 月 18 日時点で、参加者からの発生の報告なし。

以 上

この件に関してのお問合せ：
第 23 回世界スカウトジャンボリーオフィス
TEL: 03-5805-2569 FAX: 03-5805-2908
E-mail: 23wsj@scout.or.jp

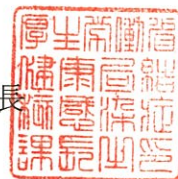


(写)

健感発 0814 第 1 号
平成 27 年 8 月 14 日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟理事長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



第 23 回世界スカウトジャンボリー大会参加者における髄膜炎菌感染症の発生
について（注意喚起）

世界スカウト機構が主催した第 23 回世界スカウトジャンボリー大会にスコットランドから参加した者 2 名が、帰国後に髄膜炎菌感染症と診断され入院中である旨、スコットランド当局から厚生労働省に情報提供がありました。

髄膜炎菌感染症は容易に感染するものではありませんが、上記患者との濃厚な接触があった参加者については、感染のリスクが考えられます。

貴連盟におかれては、当該大会の参加者に対して、髄膜炎菌感染症の特徴（別紙参照）と併せて、体調の変化に注意すること、体調に変化を感じた際には早期に医療機関を受診することについて注意喚起いただくよう、特段の御配慮をお願いします。

髄膜炎菌感染症について

- 髄膜炎菌は健康な方の喉にも存在していることのある細菌です。
- 髄膜炎菌感染症は、全く症状が出ない場合や、咽頭痛などの軽い上気道症状のみが出る場合がほとんどですが、稀に血液や中枢神経に感染が広がって、発疹（紫斑）、頭痛のほか、高熱、嘔吐、意識障害などの重い症状を呈する場合があります。
- 髄膜炎菌感染症は、麻疹などの空気感染により伝播する疾患と異なり、一つ屋根の下での同居生活（テントを含みます）をする、飲み物の回し飲みをする等により、感染者の唾液やしぶきなどの飛沫に濃厚な接触をしなければ伝播しません。また、髄膜炎菌感染症は抗菌薬による感染後の予防や治療が可能で、早く診断し適切に治療を行えば、治癒可能な病気です。